

12月

新本っ子

学校通信 No. 4 2
令和 4 年 1 2 月発行
新本小学校

【学校教育目標：豊かな人間性をもち、実践力のある子どもを育成する】 令和 4 年 1 2 月 6 日

新 自分で考える子 **本** 本気で取り組む子 **義** きまりを守る子 **民** みんな仲良く元気な子

人権参観日、ご参加ありがとうございました。



2日(金)の午後、人権参観日を開催しました。保護者の皆様には多数ご参加をありがとうございました。

本校では直近2週間を人権週間とし、授業や縦割り班活動などで人権尊重に関わる取り組みを行ってきました。週間最終日の参観日、下学年(1年~3年)では人権尊重に関わる価値項目の道徳授業を、上学年(4年~6年)は合同で、人権を守ることをねらいとした情報(ネット)モ

ラルの協同学習を行いました。



3年ぶり開催のPTA人権講演会では、総社市西部地域包括支援センター保健師の実光真悠子(じっこうまゆこ)先生を講師に「認知症サポーター養成講座」と題してご講話いただきました。保護者、高学年、教職員が参加し、講話や認知症の方からのお話、接し方の動画視聴などを通して、認知症、認知症の方々への理解や認識を深めることができました。

人権教育については、今後も日々の教育活動の中で、一人一人の人権意識の向上に向け、教職員全員での取り組みに努めていきたいと思ひます。

生命尊重～命の授業～【朝礼講話】

12月の品格目標は生命尊重です。品格ポスターには、「自分を大切に」「互いに支え合い」「他の人を大切に」という言葉が書かれています。この言葉を大切に、今日は命について考えてみます。

(中略)さて、命とはどこにあるのでしょうか。正解は命は見えません。時間がみんなの命です。命というのは、自分がこの世で使うことのできる時間のことです。このお話は、105歳で5年前に亡くなられた日野原重明(ひのはらげあき)先生が全国各地の200以上の小学校で行った「命の授業」の中で、お話されています。

(中略)先生は授業で次のように問いかけられています。自分が使うことのできる1日の時間を例えば、お手伝いや地域の施設や公園の掃除など、どれだけ人のために使っているのでしょうか。そして授業の最後に先生はこんなことを言っています。

「命とは一人一人がもつ大切な時間。世界や人のために何ができるか、宿題にするから考えてね。」大きな宿題を出されて先生は天国に旅立たれました。

一度の人生で人のために費やす時間が尊いのです。人のために動くことが、いずれ自分に返ってきます。命として与えられた大切な時間。人のためにどんなことができるか。考えて行動できればいいですね。

